



Welcome to Los Islotes !

笑顔にする魔法のコトバ Photo & Text: Ryoichi Sato

いざ、ラパスへ

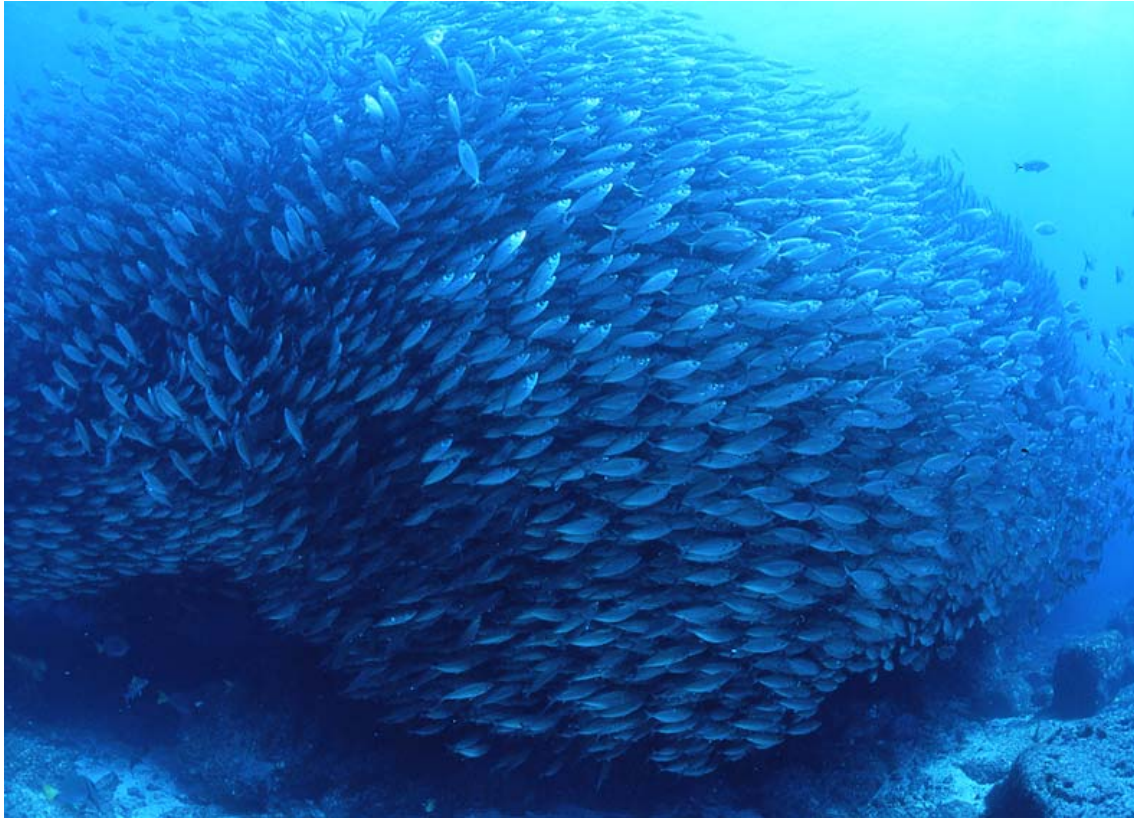
日本を旅立ち、飛行機を乗り換え、車に揺られること約 3 時間。時間的にも距離的にも決して近くないカリフォルニア半島の南に位置する街・ラパス。一般旅行者にはその名前さえ知られていないこの地にダイバーは集まる。そう「**Welcome to Los Islotes !**」この言葉を聞くために。

私は昨年 10 月に 2 航海ほど、季節限定のラパスクルーズ「NARVAL 号」に乗船した。ラパスの海・コルテス海は、アメリカの大地を削りながら流れるコロラド川の恩恵を受け、魚は視界を遮る程の「玉」となり、それを捕食する海獣たちの宝庫である。もちろん、航海中は数々の出逢いに恵まれ、ゲストと共に楽しいひと時を送ったが、その中でも、何度となく耳にした「Welcome to Los Islotes !」この言葉がゲストを笑顔へと導いてくれる魔法の合図であることを知った。

アシカたちとの触れ合い

「ロスイスロテス」は、ラパスを代表するアシカの生息地であり、おなじみのダイビングポイントでもある。アシカたちとダイビング中に戯れることが出来る世界的に見ても稀な、そして夢のような場所なのだ。そんなアシカたちを見ていて、ふと「アニマル・ヒーリング」が脳裏に浮かんだ。アニマル・ヒーリングとはペットと触れ合ったり遊んだりすることで癒される、現代の社会の中で生まれたストレス回避の方法の 1 つであるが、アシカたちの犬や猫並みに戯れつく姿は、まさにアニマル・ヒーリングであった。この無邪気で人懐っこいアシカたちは、動物園で調教を受けたアシカではなく、自然界に生きる野生のアシカ。これが多くの笑顔を生む理由なのだろう。

現在、ダイビングの楽しみ方は多種多様化している。時にはアドレナリンが出るようなアドベンチックなもの
また、ロスイスロテスのようにアシカから癒されるアニマル・ヒーリングのようなもの。今までダイビングをこ
のような観点から考えたことはなかったが、この海に潜ること自体が、心を豊かにするストレス回避の手段とな
っているのだ。「Welcome to Los Islotes！」アシカにそう囁かれたような気がして、笑顔になる私もいた。



ダイナミックさも兼ね備えるラパスの海

前出の通り、コルテス海は栄養分が豊富な海
である。ゆえにお世辞にも透明度が高いとは言
えないが、その分、魚たちは想像を超える玉と
なる。航海中は「ロスイスロテス」を中心に様々
なポイントを巡ることになるが「ラレイーナ」
や「スワニーリーフ」沈船ポイントの「ファン
ミン」はその中でも「魚玉」を堪能出来るポイ
ントである。アシカもそうであるが、時には鵜
の仲間が玉を蹴散らし、他の大型魚が突っ込む
シーンは日常茶飯事である。また、ラパスの街
の目と鼻の先には通年ジンベイザメが回遊し
ている海域があり、ジンベイスイムも可能であ
る。私が今回乗船した「NARVAL 号」では、
これら全てを網羅出来るようにオペレートさ
れているので、そんな船上は、陽気なメキシコ
人にも負けないくらいの笑顔が溢れていた。

